

平成 17 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 1 次)

専門科目

経済理論・経営理論分野

以下の問 1 と問 2 との中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済理論) 以下の(ア)、(イ)、(ウ)の間から 2 つを選んで答えなさい。

- (ア) 競争均衡が必ずしも効率的な資源配分をもたらさないのはどのような場合か、例を挙げて説明しなさい。
- (イ) 貨幣供給の増加が雇用を増やすという命題はどのような理論に基づいているのかを説明しなさい。
- (ウ) 古典派から現代に至る主要な分配理論を取り上げて概説しなさい。

問 2 (経営理論) 企業は自らが行う事業についてどのようにとらえ、またどのようにして事業発展に結びつけてゆくのであろうか。

たとえば、和歌山市に島精機製作所というニットの横編み機をつくる優良会社がある。年商 459 億円 (2004 年 3 月期単体) で、売上高経常利益率は 21.1% という高い値を示し、主力機械の世界シェアは 6 割以上という圧倒的なシェアを誇る。つまり、地方にありながら、世界的に活躍する会社といえる。ところで、この会社は自らを名乗るのにニット横編みの繊維機械製造会社とは規定せず、総合メカトロニクス企業を標榜している。

そこで、以下の関連する 2 つの課題に回答せよ。すなわち、このような事業の規定の仕方には、(1) 企業にとってどのようなメリットがあると考えられるか、自らの考えを述べよ。また、これに関連してより一般的に企業が自らの事業を決める際には、(2) 今日の情勢からして、どのようなことが主な検討のポイントになるか。あるいは、どのような事業決めが企業を成功に導くかについて、自らの知るところや考えるところを述べよ。